

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の特性や地域の実情を踏まえながら、単位制の利点を生かしたカリキュラム・マネジメントに取り組む。</p> <p>②生徒の学習意欲の向上を図るとともに、基礎学力の定着と思考・判断・表現力を養うため授業改善の一層の推進を図る。</p>	<p>①単位制である本校の目指すべき姿を全職員で共通理解し、生徒の進路を見据えた教育活動を実践していく。多岐にわたる選択科目を精選し充実させる。</p> <p>②「思考力・判断力・表現力」を培うアクティブ・ラーニング授業について研修し、授業改善をさらに進める。</p>	<p>①本校の生徒の特性を固定化せず、柔軟でかつ充実させた教科・科目を編成していく。生徒の個性を最大限に伸ばす工夫をするとともに、進路を見据えた履修指導を充実させる。</p> <p>②各教科で「思考力・判断力・表現力」を培うアクティブ・ラーニング授業について研修を行い、個々の教員が、授業改善の仮説を立て、授業実践を通して効果を検証する。</p>	<p>①生徒アンケートで、単位制の特徴を活かした授業選択における生徒の満足度が70%以上か。</p> <p>②研修を通じて70%以上の教員が生徒の学習効果を実感できたか。</p> <p>③思考力・判断力・表現力の育成の点で生徒の70%以上が効果を実感できたか。</p>					
2 生徒指導・ 支援	<p>①部活動の一層の活性化を図るとともに、部活動を通じたリーダーシップ教育を推進する。</p> <p>②教育相談体制をさらに充実させ、組織的な生徒支援を行う。</p>	<p>①部活動において1年次生90%以上、全校で85%以上の加入率を目指す。また、リーダーシップ教育で得た事を実践し、仲間との協働、協力、切磋琢磨を経験し、実績の向上につながる活動ができるようにする。</p> <p>②生活支援グループ、年次団、教科担当者が連携し、職員間の情報共有の徹底を図り、</p>	<p>①4月中の入部を推進し、連休明け及び夏季休業後に退部した生徒も含めた未加入生徒を対象に、生徒会支援グループが年次団と協力し、加入に向けた働きかけを行って加入率アップを目指す。</p> <p>②生活支援グループ会議での各年次生徒の情報及び定期的に行うケース会議の情報を職員間で共有していく場を設ける。教育相談アンケートにより生徒の状況を把握し、いじめ防止に努める。</p>	<p>①部活動の入部率が1年次90%以上、全校で85%以上になったか。</p> <p>②生活支援グループ会議やケース会議での情報交換の内容や教育相談アンケートの結果を職員全体に周知する機会を定期的に設けたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
			個々の生徒に応じた支援に役立てる。							
3	進路指導・支援	<p>①生徒の課題発見力・課題解決力を高め、キャリア育成を図る。</p> <p>②個々の生徒の進路希望実現のためきめ細やかな支援を組織的に行う。</p> <p>③これからの社会を担い、積極的に社会参加する生徒の能力と態度を育成する。</p>	<p>①キャリア教育の一環としてリーダーシップ教育をさらに推進し、生徒の自己肯定感を高めるとともに、課題発見力・課題解決力を高めるための取組を実践する。</p>	<p>①アクティブ・ラーニングの視点に基づく授業において生徒がリーダーシップを発揮できる仕組みを、教員研修の実施により組織的に定着させる。また、授業のみならず、学校行事、学級活動、部活動等あらゆる場面で、生徒がリーダーシップを発揮し、目標達成、課題発見・課題解決に活かせるよう支援を行う。</p>	<p>①生徒の80%以上が本校で取り組んでいるリーダーシップ教育の意義を正しく理解し、様々な場面でリーダーシップを発揮できたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>①地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>②ボランティア活動等を通して、地域と連携した教育活動を推進する。</p>	<p>②地域貢献活動の計画的実施と地域連携の一層の推進を図る。また、生徒によるボランティア活動の充実を図る。</p>	<p>②旧モーガン邸の保全活動・土嚢作り・地域清掃を3本柱にした計画をたて、10月実施に向けて準備を整える。</p> <p>②「アジサイまつり」「藤沢宿まつり」等地域イベントへ生徒会役員・ボランティア部・ボランティア委員が、積極的に参加する体制を確立させる。</p>	<p>②地域貢献活動が計画的に実施できたか。</p> <p>生徒によるボランティア活動の参加が、前年度より延べ人数で5%以上増えたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境の整備に努め、安全安心で、明るい学校づくりを推進する。</p> <p>②事故・不祥事防止を徹底し、職員が前向きに取り組める、風通しの良い職場づくりを推進する。</p>	<p>①施設・設備を含めた校内の教育環境が安全に整備されているよう日常的に取り組む。</p> <p>②入学者選抜・定期テストの際に事故が発生しないよう手順の明確化と情報の共有に努める。</p>	<p>①全教員が、空き時間に輪番で校内巡視を行い、生徒の安全と教育環境の整備に問題がないかどうか点検する。</p> <p>②入学者選抜の際は各担当者同士の連携ミスによる事故が起こらないよう異なる担当者同士の情報共有と相互理解のための打ち合わせを怠らないようにする。</p>	<p>①課業期間中の80%以上の日に点検が実施できていたか。</p> <p>②連携ミスによる事故をゼロにできたか。</p>					